

学位論文審査基準(医学専攻)

1. 専攻した医学・生命科学の領域に関して、深い専門的知識を有している。
2. 医学・医療と生命科学や環境科学との融合領域・学際領域の広い学識を有している。
3. 自らの研究歴あるいは臨床経験に基づいて、一定期間に完遂可能な、新たな研究テーマを設定することができたと判断される。
4. 自らの研究テーマに基づいて、実験や調査の具体的かつ現実的な計画を立案し実施できたと判断される。
5. 自らの研究成果を発展させるために、新たな研究テーマを設定し、今後の研究計画を立案する能力を有している。
6. 自らの研究成果を、医学・生命科学のグローバルな展開あるいは地域医療の持続的な発展に生かそうとする積極性を有している。
7. 実験室や調査フィールドあるいは臨床の場における実践的な経験に基づいた、医学者としての研究者倫理を有している。
8. 自立した医学研究者として、学会での発表者および論文の著者としての責任感を有している。
9. 自らの研究成果を客観的に分析し、目的・背景・研究方法・結果・考察、さらに今後の発展の可能性について口頭で発表し討議する能力を有している。
10. 自らの研究成果について、国際的に通用する形で発表する能力を有している。

修士論文審査基準(看護学専攻博士前期課程)

1. 研究の内容が看護実践の改善に貢献するものである。
2. 研究の目的が明確である。
3. 看護に対する意義が述べられている。
4. 先行研究が十分検討されている。
5. 研究目的に合った方法を用いて研究している。
6. 研究目的に沿って結果がまとめられており、記述方法が適切である。
7. 得られた結果が適切に分析され、研究目的に沿って論理的に考察が述べられている。
8. 研究の限界を認識し、その対処が述べられている。
9. 研究の実施、もしくは結果の公開において論理的な問題がない。

学位論文審査基準(看護学専攻博士後期課程)

1. 地域包括ケア開発学の発展に寄与できる研究課題である。
2. 学術論文として、新規性、創造性、応用的価値がある。
3. 研究方法や倫理的配慮が妥当である。
4. 文献が適切に引用され、論旨の一貫性がある。
5. 和文もしくは英文で書かれている。